

令和4年度 2学期終業式

令和4年12月23日(金)、2学期終業式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策として、今回リモート形式にて実施されました。

全校集会次第

- (1) 受賞伝達
- (2) 壮行会
- (3) 離退任式(飯塚先生)
- (4) 2学期終業式
- (5) 冬期休業事前指導(生徒指導主事・進路指導主事)

受賞伝達では、ハンドボール部、書道部、吹奏楽部、科学研究部のほか、個人の活動の表彰も行われました。部活動だけでなく、自分で様々なことにチャレンジして成果を残す人がいるのも、高女の素晴らしいところだと改めて感じられました。次に1月開催の関東大会に出場する部活動の壮行会も行われました。放送部は朗読部門で、囲碁特別愛好会は個人と団体で関東大会に臨みます。力が発揮できるように校長先生や生徒会長からエールが送られました。

引き続き、2学期で退任される飯塚先生の離退任式が執り行われました。育休補助として保健体育の授業や各種の学校行事にご尽力していただいたほか、バスケットボール部の顧問として情熱をもって指導に当たっていただきました。生徒会長が御礼の言葉を述べる際に涙ぐんでいたことが、飯塚先生の高女での取組を物語っていました。飯塚先生、ありがとうございました。



さて、終業式の式辞では、濱野校長先生から、いつも通り前向きになれる言葉をいただきました。「高女での生活は、自分を成長させるための日々となっているか。」ユニークな筋トレの例えも交えながら、挑戦することで是非自分自身の成長を図って欲しいと。また、「勝負の時に弱気になるか、強気になれるか。」強気になってその場面に対峙できるようになるためには、それまでの準備をいかにするかにかかっている。高女生の活動を見ていると、たくさんの場面で自分に厳しく取り組む素晴らしい光景が目に入ってくる。そうした活動が裏付けとなり、自信と



なって自分ならやれるという気持ちに繋がっている。高女で取り組んできたことを誇りに頑張りたいと、受験の本番が近づく3年生にも、勉強や部活動などに取り組む1, 2年生にも心に届く言葉でした。

生徒指導主事と進路指導主事から冬季休業前の指導があり、その後、3年生は受験の成功を祈願する「だるまの目入れ」を行いました。

